

# 教育史だより



第6号（平成26年5月30日更新）

## 最初のアchievement・テスト（ア・テスト）

アチーブメント・テストとは、中学校における学力の到達状況を見るために都道府県ごとに一斉に行われる検査で、その結果は昭和23年度に発足した新制高等学校の入学者選抜の資料の一つとなっていました。

当初のアチーブメント・テストについて昭和26年度版『神奈川県教育概要』には、「本県において実施するアチーブメント・テストは他の都道府県において行われる選抜のためのテストと異なり、県を母集団として、標準化することを目的としたものである。」とあり、さらに、「真に学習指導のための、教師の自己反省のための、更に明日へのより良き教育のための優れた標準検査の作成を旨としている。」とされていました。

昭和25年2月、神奈川県で初めて実施された昭和24年度のアチーブメント・テスト（以下、ア・テストとする）は、国語、社会、数学、理科、図工、職業家庭の6科目を総合して21の問題に○×式で答えるものでした。翌昭和25年度、26年度は国語、数学の2教科を検査時間50分で実施しました。昭和27年度は国語、社会、数学、理科の4教科（各50分）で実施され、翌28年度からは、音楽、図画工作、保健体育、職業家庭を加え8教科に拡大し、昭和34年度に英語が加わり9教科となりました。

昭和27年度入試に際し、合否判定困難な者についてア・テストの結果を資料として、高校側が中学校側に求めることができるようになり、翌28年度入試からは選抜資料として指導要録に記入することになりました。

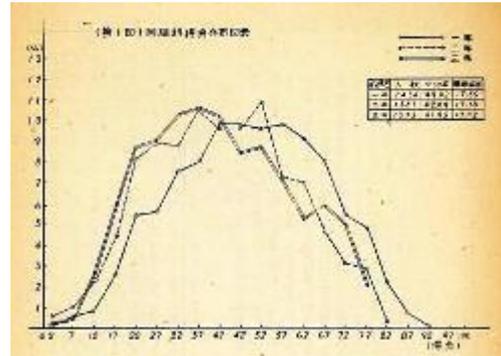
ア・テストは、その後神奈川県の公立高校入試において長い間、選抜資料の重要な要素であり続けました。入試制度の改革を受け、平成6年度からア・テストは段階的に選抜資料から削除され、平成9年度には完全に除外されました。

下の写真は、総合教育センター教育図書室所蔵の、『神奈川52年式アチーブメント・テスト報告書』の一部です。

## 報告書表紙



## 国語の得点分布図表



### <参考資料>

神奈川県教育委員会 1952 『神奈川県教育概要』

神奈川県教育委員会 1979 『神奈川の教育、戦後30年のあゆみ』

神奈川県戦後教育問題研究会 2001 『かながわ学びの軌跡』

二見修次 2007 『神奈川の高校教育の変容』

### 問合せ先

神奈川県立総合教育センター  
学校教育支援課 学校支援班  
(0466)81-1659